

県水道工事業協組連

働き方改革は 待ったなし

三重県水道工事業協同組

合連合会（藤原和彦会長）

は10日、四日市市内で通常
総会を開き、2019年度
事業計画や収支予算などを
可決した。

藤原会長「写真」は「建



設業界は働き方改革の猶予
はあるが、待ったなし。一
人一人が考え、仕事に取り
組む工夫が必要だ」と述べ、
「市民に安心安全な水を供
給していくことに誇りを持

ち、事業を行いたい」とあ
いさつした。

議事では18年度の事業報
告と決算関係書類を承認し
た。19年度の事業計画とし
ては、災害時の救助活動組
織の充実と訓練への参加と
いった組織の充実強化や、
業界のイメージアップと体
質改善をはじめとする雇用
改善事業の推進に関する事
項などを決定した。